

伊万里 市議会だより

第24号

平成20年
(2008年) 2月



スタート! (名村カップ2007 伊万里ジュニア駅伝)

12月補正額： 6億1,033万円
予 算 総 額：211億7,223万円
(対前年度同期 -16億4,638万円、-7.2%)

特集 新病院建設へ向けて
施設整備費負担割合決定

伊万里市は55%

平成19年伊万里市議会第4回定例会 会 期 日 程

12月

開議時刻 午前10時

日	種 別	内 容
3(月)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等25件 … 一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
5(水)	本会議	議案等に対する質疑
6(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
7(金)	休 会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
10(月)	休 会	特別委員会(地域医療整備対策)
11(火)	本会議	一般市政に対する質問
12(水)	本会議	一般市政に対する質問
13(木)	本会議	一般市政に対する質問
14(金)	休 会	常任委員会
17(月)	休 会	常任委員会
18(火)	休 会	正副委員長会
20(水)	本会議	市長提出追加議案等1件 …上程 市長提出追加議案等の提案理由説明 市長提出追加議案等に対する質疑 決議案1件、意見書3件 …上程 決議案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 決算審査特別委員会報告 特別委員会中間報告に対する質疑 決算審査特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉 会

議会ホットコーナー

「銃器等犯罪の根絶に 関する決議」を可決。

武雄市、佐世保市において、銃器を使用した事件が相次ぎ、不安が広がる中で、佐世保市での事件に関連して、伊万里市の射撃場が報道されるなど、市民の関心は高い。

よって、銃器等の犯罪はもとより、いかなる凶悪犯罪も許さない安心・安全の社会環境づくりを誓うと共に、関係機関へ対策を強く求める。



人 事 紹 介

伊万里市教育委員会委員

水 上 廣 子 (再任)

定例会会期日程など

意見書

・ 地方交付税の復元に関する意見書

地方交付税の一方的な大幅削減により、多くの自治体が財政運営に支障を来しているため、その復元・充実を求めるもの

・ 「道路整備財源の確保」を求める意見書

道路特定財源制度の見直しが論議されているが、地方が真に必要なとする道路整備や維持管理が計画的に進められるような制度を求めるもの

・ 「農業政策見直し」を求める意見書

農業者が夢と希望を持って営農に励み、農業・農村が将来にわたって持続的に発展できる制度への見直しを求めるもの

地方自治体第99条の規定により関係機関に意見書を提出しました。

特集 新病院建設へ向けて 施設整備費負担割合決定

これまでも第20号・23号で、特集を組んでお知らせしてきましたが、いよいよ伊万里市・有田町の負担割合等が決まりました。今後は、今年度中に基本計画策定、了承されると、新病院のアウトラインが見えてきます。

施設整備に要する経費 伊万里市 55%、有田町 45%

新聞等でも報道されているように、事務レベルでは伊万里市「伊万里40%、有田60%」、有田町「伊万里60%以上、有田40%以内」の主張でした。

最終的に12月17日に開催された会議で、上記の割合で議会に提案することが決定されました。

新病院は一部事務組合で整備することとなっており、そのための必要な議案を両議会とも12月議会最終日に賛成多数で可決、決定しました。

★12月17日 会議の状況：有田町役場にて、14時から約2時間半

- ・ 首長協議《両首長》
- ・ 双方協議《両首長、両議会正副議長》
- ・ 個別協議《伊万里市長、伊万里市議会正副議長》



◎首長協議を基本としながら、各々が提示した数字を受けて双方協議や個別協議を重ね、最終的に「伊万里市民が良い医療を享受するために」（塚部市長答弁）、苦渋の選択となった。

★一部事務組合とは…

地方自治法の規定により、県や市町村等の普通地方公共団体や特別区が、その事務の一部を共同で処理するために設ける地方公共団体の組合。規約等の変更は、議会の議決を必要とします。

現在、伊万里市が関係する主な一部事務組合等は次の通りです。

組 合 名	内 容
伊万里・有田地区衛生組合	・ 浄化センター（し尿処理施設）の設置、管理運営事務 ・ 火葬場「やすらぎ苑」の設置、管理運営事務
有田磁石場組合	・ 伊万里市、有田町の共有財産である磁石場の維持運営事務
伊万里・有田地区介護認定審査会	・ 要介護等認定事務
伊万里・有田地区障害程度区分認定審査会	・ 障害程度区分認定事務
佐賀県後期高齢者医療広域連合	・ 後期高齢者（75歳以上）医療制度事務の一部
佐賀県西部広域環境組合	・ 県西部ごみ処理広域化計画と施設整備事務
伊万里・有田地区医療福祉組合	・ 特別養護老人ホーム「くにみ」の設置、管理運営事務 ・ 新病院施設整備事務

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された条例議案3件、字の区域の変更案1件補正予算議案2件について慎重審査の結果、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

市職員の育児休業等に関する条例については、地方公務員の育児休業等に関する法律改正に伴う為の改正である。

市税条例の一部を改正する条例については租税特別措置法の改正に伴うものである。

市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については職員の給与を改定する必要が生じそれぞれに審査をしたところである。

市職員の育児休業等の条例改正については職員の仕事と育児の両立を目指す事が目的となっているが、単時間制の採用により休業形態が多様化し、職員の選択肢が増えることは

歓迎されるが、不規則な休業が本来市民へのサービス業務に徹底すべき役所現場において支障をきたさない様、極力配慮すべきとの多くの意見が出された。職員の給与改定条例については、大変厳しい財政状況ではあるが初任給や若年層を対象とし、若干の格差を是正するという主旨においては委員会としても理解できるところである。

補正予算議案について消防補正の中で救急体制の現況説明を受けたところであるが、火災が発生する季節の中で、初期出動の迅速化と市民への火災予防の周知徹底を推進するよう言及したところである。



防火水槽の整備予定地(松浦町村分)

行政視察(10月9日～12日)報告

1.岐阜県各務原市：行財政構造改革

当市は、収入の減少と行政の需要増加にたえ得る為、平成13年から「カイゼン運動」を実施し行財政基盤の強化に努め、特に21世紀型市役所への進化を目指し、①全ての業務を行政が行う必要性はあるのか ②現在の質でいいのか ③提供の仕方は適切か など行政サービスの範囲・質・提供の方法の見直しが進んでいる。民間経営手法を導入し、徹底したムダの排除を意味する「カイゼン運動」が、トップの強い意志のもとスピードをもって、展開されている。

具体的削減では、工事費の諸経費の見直しで工程に応じた積算・物価単価本の見直し等で30%削減効果が表れていたのが印象的。

2.滋賀県近江八幡市：コンプライアンス条例

条例を中心としたコンプライアンス(法令遵守)制度導入のきっかけは、職員への恐喝事件や不適切な予算執行がなされたことによる。個人対応ではなく組織として不当要求や暴力に対しての未然防止のルール作りや職員の法令遵守のチェック体制強化に取り組まれている。外部からコンプライアンスマネージャーを導入し、適切な対応のアドバイスと後方支援をお願いしている。年間300件の相談もあり、不当要求行為も減少している。

同時に、市民からの正当な要求や要望等が

不当要求にみなされないよう、第三者の立場でコンプライアンス委員会を設け調査、検討を行い慎重を期している。今後の課題としては各職場でのマニュアル作成や継続しての職員研修の実施の必要性を伺った所である。

3.滋賀県高島市：市役所通信簿・事業仕分け

当市では、限られた財源の中、市民との協働でのまちづくりを推進していくため、事業や施設、サービスに対する満足度を図る「市民まちづくり評価アンケート調査」に取り組んでいる。(対象は、20歳以上、3000人を対象に、職員の手で作成)内容は市の魅力の他、生活に関連の深い福祉、生涯学習など164事業や、施設87ヶ所についても、内容をわかりやすく説明し、決算・財源等も示し重要度、満足度を評価するものとなっている。

市民の関心事が今どこにあるのかを探り、まちづくりへの関心を促す方法の一つで参考としたい。



視察風景(各務原市)

◎笠原 義久 ○樋渡 雅純
前田 教一 多久島 繁 松永 孝三
船津 賢次 前田 久年 下平 美代

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会、市民病院

付託された条例議案2件、予算議案8件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

手数料条例の一部改正は、介護保険法に基づく指定地域密着型サービス事業者等の指定更新時における審査手数料の徴収をするための改正を行うものです。また、国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法の改正により国民健康保険税の特別徴収義務者の指定（65歳以上75歳まで）と合わせ、特別徴収の方法（年金差引き）改正するもので、広報等での周知だけでなく、より直接的な説明を行うよう要請しました。

一般会計補正予算の主なものは、民生費において、子育て支援センターの市民センター内への移転に伴い、駐車場施設のため用地購入を行うものです。衛生費においては、小規

模下排水路整備を行うための補助金を交付するものです。

教育費においては、私立幼稚園への就園補助および、自治公民館の新築、改築に対する補助を行うものです。

市民病院の特別会計では、検査技師長を含めた3名の退職者を来年3月に控え、一般会計からの借入れによる補正が行われました。病院事業の審議には、田中院長の出席をえて、現在の経営状況や統合に対する私見もお聞きしました。なかでも経営は赤字解消に努めていることや、新スキャナー設置による受診者増を図っていること、また統合についてはできるだけ早いほうが良いのではないかの考えを示された。



建設中の認定子ども園視察（伊万里幼稚園）

行政視察(10月16日～19日)報告

1.滋賀県野州市：環境政策(楽楽エコトライ)

旧野州町時代からの「人権と環境政策」の理念を、H16年合併後も引継ぎ、市長直属組織として現在に至っている。具体的取組みは、地球温暖化防止等を地域ぐるみで実践することで、まちづくりに繋げていこうとするもので、楽楽エコトライは家庭版として拡げたもの。二人以上の実践グループで、省資源・省エネルギー、資源の有効利用、車の燃料費節減など事細かな工夫の実施項目を挙げ、行政と市民との協定書を交わし認定証を受けて報告書の提出によりモニター料の交付を受けるものである。遠大な計画で長続きするのかの問いに社会的仕組みとして継続したいとのこと。

2.奈良県大和群山市：不登校対策(学科指導教室)

構造改革特区として、教育課程の弾力化の特例措置を受け不登校児童生徒の自立を促す教育を推進するために設置した。ひきこもり状態にある者の指導は小規模指導形式で、学校並みの学習が行われている。

最終目標は学校復帰であるが、ここでは内申書の権限も持ち高校進学も行われていた。

3.奈良県奈良市：音楽療法の取組み

現市長のオーストラリア姉妹都市交流事例の中で、福祉施策として取り入れられた。これを福祉計画の中に位置付け、音楽療法はコーラス部などの集まりに始まり上手になることではなく、1日でも健康でいられるようにとの効果を求めるものである。

「こころの栄養」というビデオの作成があり心の豊かさや健康を求める指導が音楽療法士(14名のボランティア)によりなされている。また、奈良教育大学とのタイアップでアルツハイマー対策がなされるなど、本市も考えさせられるところがある。



あゆみスクエアユニバース(学科指導教室)

◎岩橋 紀行 ○山崎 秀明
占野 秀男 高木 久彦 島田 布弘
田中 啓三 福田 喜一 盛 泰子

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました条例議案3件、補正予算3件と特別会計補正予算4件について、慎重審査の結果原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

条例議案の伊万里市高齢者等肉牛モデル事業基金条例については国の改革により国への返還金が求められ今年度分123万751円の返還、また伊万里地方酪農共同組合の解散に伴う寄付金100万円を受け、基金に積み立てられる、伊万里市工業用水道事業特別会計補正については、国(経済産業省)からの補助金1億5千万円受け、企業債との財源組替えを行なうとの説明を受けた。

伊万里市交通対策協議会から提出された、ガードレール(約600m)・カーブミラー(30基)

等の設置費の補正額150万円で合計215万4千円になり、要望を満たす事は出来ないが、今後も年次毎に整備を要望した。

伊万里・松浦共同物産展開催事業については、1月25日～27日に「マリノアシティー福岡」で開催され「伊万里・松浦どっちもうまか祭in福岡2008」の名称で行なわれ、両市の特産品を販売・PRする。

伊万里市工場等の設置奨励に関する条例に関しては、伊万里団地・七ツ島団地が約9割以上の企業が進出して、伊万里市・武雄市の境界付近に新たに工業団地を計画。



第4工業用水 貯水場全景

行政視察(10月15日～18日)報告

1、岐阜県高山市：①伝統的建造物群

②グリーン・ツーリズム事業の推進

平成17年2月1日1市2町7村が合併新「高山市」が誕生し人口約9.6万人、市域面積約2180平方キロ、日本で一番広い(東京都とほぼ同じ)。又、市域面積の92.5%が森林地である。伝統的建造物群については文部科学省より選定された、全国81地区にも入っており中でも「二之町大新町」と「三町」は旧城下町時代の地割をよく残し、密度高く立ち並んでおり、市民と協働での保存活動が展開されている。グリーン・ツーリズム事業の推進については、合併により豊富になった。自然・人材・農産物・地域資源を活用すべく、「飛騨高山グリーン・ツーリズム推進連絡会」を平



高山市伝統的建造物群

成18年3月に設立し、現在は26団体45名で活動中である。今後はこの活動を一層推進するため 民間のノウハウ、アイデア等を活用し機動的で独自の運営ができるように連絡会から協議会への移行が計画されている。

2、三重県伊賀市：交通計画(コミュニティバス)

平成16年11月1日、1市3町2村が合併新「伊賀市」が誕生し人口約10.3万人市域面積約558平方キロ県の北西部に位置し又、近畿圏、中部圏2大都市圏の間であることから三重畿央地域として首都機能移転候補地にも挙げられている。6市町村が合併はしたが各支所において運行されている行政バスは 合併以前の各市町村独自のサービス水準を維持する形態になっている。市域内でのサービス提供の不均衡是正が、各施設の老朽化への対応と併せて緊急の課題となっており「生活交通の確保に資する施策」と題しての綿密な調査、現状分析等がなされおり大変参考になった。(岐阜県白川村、愛知県常滑市は、紙面の都合で割愛した)

◎前田儀三郎 ○渡邊 英洋
松尾 雅宏 松尾 博幸 草野 譲
堀 良夫 内山 泰宏 浜野 義則

地域医療整備対策調査特別委員会

1. 新病院建設における協議等の経過について

建設地が決定したことにより、早期に一部事務組合を設置したいとする統合推進協議会の意向が示された中、建設負担割合や一部事務組合への移行方法等について協議がなされてきた。当委員会としても、とりわけ建設費負担割合について慎重に議論を重ねてきた。

10月5日開催の委員会では、平等割・病床割・人口割・利用割・地域割の全てのパターンを基礎に検討を行い、伊万里市の負担として39.2%から45.0%が妥当であるといった当委員会としての見解を示したところである。しかし、有田町側が病床割に対して現在の経営実績や医療体制の充実という貢献度を主張し、また、地域割を考慮しないなど、算定要素の捉え方に乖離もあり、伊万里市、有田町の双方が互いに相手方に対し60%を要求するといった状況にあった。妥協点を見つけるために伊万里市として譲歩できる限界について議論したところである。そこでは「委員会として見解を示した45.0%を原則とし、その交渉において譲歩したとしても限界は50.0%とすべき」という意見が多数を占めたところである。

2. 新病院建設に向けて

一部事務組合への移行と併せて、12月10日には第一回目の公的病院統合基本計画等策定委員会が開催されている。可能な限り早い時期での開院を目指して、今後、診療科目や経営形態等について検討を重ねられることになるが、医師確保という最大の問題をはじめ、地域の要請に合った診療科目の設定と経営安定との見極めなど、地域住民が将来にわたり真に安心できる医療体制を確立するためにクリアしていかなければならない課題は多い。基本計画をはじめとする今後の協議、検討においては、将来に禍根を残すことのないよう十分な議論を尽くしていただきたい。また、この議論の過程においては、市民の声、医療現場の声を反映させる仕組みを設けるとともに、その判断、決定に至るまでの経緯を市民に対し十分に説明していくよう努めていただきたい。なお、協議等の状況については、今後とも当委員会への速やかな報告を望む。

行政視察(11月13日～15日)報告

1. 宮崎県：串間市民病院

建築後35年以上を経過し老朽化の著しかった旧串間市国民健康保険病院を総事業費38億2千万円をかけて新築し、平成17年5月より診療が開始されている、120床の病院である。全病室にトイレ設備を設置したり、各病棟に家族控室を配置したりと、「患者本位の病院」を目指した施設構造となっており、入院患者数、外来患者数ともに着実に増加している。しかし一方で、この病院においても、既に休診となっている小児科をはじめとして、医師不足は深刻な問題となっており、これに対応するため、クリニカルクラークシップ制(診療参加型の臨床実習)を導入するなど臨床研修病院としての取り組みも積極的に行われている。

2. 熊本県：山鹿市民病院

平成17年9月に基本構想及び基本計画が策

定され、実施設計を経て、今年度中に工事に着工する予定となっている。病床数201床の病院である。この基本計画の中では、急性心疾患に対応できるような最新医療機器の導入や通院等によるガン化学療法を行うための施設整備、さらには地域住民のニーズが高い小児時間外診療体制の整備等が掲げられている。しかし、常勤医師数が昨年度より6名減となるなど、この病院においても医師不足は深刻な問題であり、とりわけ小児科については昨年度3名の常勤医師が不在となり、それまで行われていた小児夜間診療の休止を余儀なくされているという状況であった。医師確保の重要性とその難しさを痛感するとともに、紹介、逆紹介を積極的に推進するなど、可能な限りの地域医療完結型の医療提供体制を目指すことが必要であることを認識したところである。

3.福岡県：公立八女総合病院

昭和35年に当時の2市4町2村により設立された組合立の総合病院であり、その後増改築を重ね、現在、診療科19、病床数330床体制で八女地区における高度医療を提供している。激変する医療情勢に対応していくため、迅速な経営判断と成果主義への人事給与制度改革が必要であるという考えから、平成18年4月より地方公営企業法を全部適用し経営転換を図っている。公的病院経営における危機的状況を乗り越えるためには、経営責任の明確化と人事給与制度改革、事務組織の転換といった経営体制の確立が必須であり、地方公営企業法の全部適用や独立行政法人化が必要であるといったことについて説明を受けた。公的病院として地域の医療ニーズに応えるため、高額医療機器等の購入を行えば、保守費、減価償却費を捻出するだけの稼働率が確保できないといった可能性もあり、その分経営リスクを伴うといったこともあり、政策医療をど

こまで行うかという見極めが重要であるというアドバイスも受けた。公的病院建設においては、可能な限り初期投資を抑え、身の丈にあった病院を造ることが重要であると認識した。



串間市民病院

◎草野 譲 ○多久島 繁 渡邊 英洋
堀 良夫 笠原 義久 前田義三郎
下平 美代

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1 西九州自動車道建設について

- (1) 伊万里道路は6月から路線測量業務が実施されているが、本業務に着手されていない一部地区においても11月より路線測量が開始されている。
- (2) 伊万里松浦道路は長崎県側において早期の工事着手が見込まれるので、山代IC～県境間について事業促進が図られ、国の直轄と市の土地開発公社により用地買収に着手されている。

2 港湾の整備について

七ツ島工業団地の多目的国際コンテナターミナル整備については、-13mの岸壁工事が行われているが、構築物の移転補償交渉の難航により計画は変更され、ケーソン6函を製作されているところである。

3 企業誘致について

- (1) 企業の進出については、10月18日に(株)かねは食品と、11月20日に(株)SUMCOとの進出協定が締結された。(株)かねは食品は、

福岡市に本社がある明太子等の製造販売会社であり、雇用は95人で、内92人の地元雇用をパート主体で計画されている。(株)SUMCOは太陽光発電用シリコンウェーハの製造工場を建設されることに伴うもので、来年3月から工事に着手し21年4月竣工予定で、新規雇用は80人を予定されている。

- (2) 伊万里・武雄地域産業活性化協議会について

企業立地促進法の施行に伴い国からの第1号の同意を受けた同協議会の基本計画については、有田町から本計画に参加したいとの申し出があった。これについては、伊万里・武雄両市で協議された結果、異論はなかった。

◎福田 喜一 ○松尾 雅宏 占野 秀男
山崎 秀明 樋渡 雅純 高木 久彦
島田 布弘

平成18年度 伊万里市一般会計及び特別会計決算審査委員会

本委員会は18年度一般会計及び国民健康保険、介護保険、立花台地開発、公共下水道、農業集落排水、市営駐車場及び老人保健の7特別会計を19年11月2日より6日間にわたり決算審査を実施し、委員会での意見要望を付して認定すべきものと決定いたしました。

一般会計を見ると、歳入は206億5,620万2,562円で歳出が204億9,516万4,393円となっており、過去の決算（平成8年・平成13年）と比較して見ると歳出は約20億円程度減少しているものの、民生費・衛生費は約14億円程度の増となっている。

財政状況は極めて厳しい状況であるが、次年度以降に予定されている統合による中核的病院建設を初めとした大型プロジェクトの推進にあたり多額の財政負担を伴う一方で、地方交付税や国庫補助・負担金の予想以上の落ち込みから大幅な財源不足に陥ることも予想される。今日の財政危機を乗り越えるため、施策の優先度や緊急度、事業効果など厳しく見極めた上、経費の節減合理化になお一層の努力を望むものである。

今回は9人の委員構成で審査をおこなったが、100項目以上に亘る質疑があった。

これを重複をさけながら概略整理してみると74種程度に整理されたところである。

この中から質疑項目の例を挙げると、

- 1 各種税の収納を高めるために収納方法の口座振替の促進を図ったらどうか。
- 2 市営住宅使用料や保育料の未納について実態調査をして突っ込んだ対策の対応が必要でないか。
- 3 乳幼児医療費助成の実績が少ないがその理由は何か。
- 4 消防署の寝具リースは随意契約か。
- 5 防火水槽の新設要望の対応について。
- 6 大規模留守家庭クラブの分離の必要性について。

などであり、慎重に審議を尽くしたところである。

今回の質疑については各部署において十分に配慮した対応を望むものである。

◎内山 泰宏 ○山崎 秀明 松尾 雅宏
 多久島 繁 松永 孝三 松尾 博幸
 島田 布弘 笠原 義久 盛 泰子

平成18年度 企業会計決算審査特別委員会

本委員会に付託された平成18年度の水道事業、工業用水道事業及び病院事業の決算認定について、11月5日、6日及び7日に委員会を開催し審査した結果、次の意見要望を付し認定すべきものと決定いたしました。

意見要望

1 水道事業について

ライフラインの根幹をなす水道の未普及地区については、第9次拡張事業や小規模水道等施設整備補助制度利用により徐々に解消されつつあるが、市内にはまだ8地区（約200戸）に及んでいる。未普及地区の解消に向けた整備計画を立てるなど、早急な対策を講じられるよう強く要望する。

2 工業用水道事業について

工業用水の需要増により第1及び第3工業用水道の最大稼働率は100%に達し、当年度収支において赤字幅は減少しているがなお損失を計上している実態にある。赤字解消のため、今後とも事業の効率的運営に努められるよう要望する。

3 病院事業について

厳しい経営が続く中で、病院関係者一丸となって経営改善に努力され、当年度赤字幅が大きく減少したことは高く評価されることである。しかしながら、累積欠損金は更に増大している実態であり、薬剤購入方法や経費節減など更に経営改善に努力されるよう要望する。

◎高木 久彦 ○船津 賢次 占野 秀男
 前田 久年 草野 謙 樋渡 雅純
 前田儀三郎 福田 喜一 浜野 義則

一 般 質 問

(質問順)

一 般 質 問 事 項

議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 安心・安全のまちづくりについて (1) ハザード(危険洪水)マップの今後の活用方法について (2) 住宅の耐震診断・改修の促進について 2. 行政改革について (1) 集中改革プランの取り組みと進捗状況 (2) 行政(公共)サービスのあり方・役割分担について	盛 泰子 (一問一答)	1. 予算説明資料の詳細化 2. 今後の指定管理者導入への方向性 3. 市民活動サポートセンターの運営 4. 小中学校へのAED配備 5. 保育士、幼稚園教諭等に対する市主催の研修機会
		船津 賢次 (一問一答)	1. 同和行政、同和教育の終結について 2. 資格証(国保)の発行について 3. 楠久第2市営住宅の問題について 4. 財政問題について
前田 久年 (一問一答)	1. 市道の管理について (1) 市道沿線の除草及び支障木の伐採について (2) 中央線と外側線設置について 2. 地域交通会議について (1) これまでの経緯 (2) 今後のスケジュール	前田儀三郎 (一問一答)	1. 学校給食法の改正に伴う伊万里市の今後の取り組みについて 2. 病後児保育の取り組みについて 3. 滝野中学校の今後の在り方について
		福田 喜一 (一問一答)	1. 山間地農林業の今後の存続は (1) 荒廃している水田の現況を伊万里市(行政)はどう思うか (2) 林業対策について 2. 福祉事業について (1) 自立支援法に伴う授産施設(作業所)への支援について (2) 障害者トイレの整備について (3) 障害者駐車場の確保について
下平 美代 (一問一答)	1. すべての高齢者が尊厳を保って人生を過ごすために (1) 認知症予防推進事業について (2) 今後の市の取り組みについて 2. クレー射撃場の閉鎖に向けた対策について 3. 雇用能力開発機構の陶磁器科廃止に伴う市の対応について		
高木 久彦 (一問一答)	1. トンテントン合戦について 2. (株)SUMCO対策について	草野 謙 (一問一答)	1. 環境問題、特に水環境問題について (1) 伊万里市環境基本計画の実施状況について (2) 環境市民会議における会議結果の市民への周知について (3) 現在計画されている範囲での公共下水道事業の見通しについて (4) 公共下水道整備の限界について (5) 浄化槽市町村整備推進事業に本市として取り組む計画はあるか (6) 環境に配慮した車の利用促進について (7) 環境問題に対し市長はどのような政策をもって取り組むか
多久島 繁 (一問一答)	1. 臨港道路久原線の車線増加について 2. 臨港道路久原線の延長について 3. 西九州自動車道建設に伴う地元住民の移転について		

一般質問

ハザードマップの活用

樋渡 雅純

市が作成する耐震促進計画の中で、診断の促進をどう位置づけていくのか。

答弁 建設部長

56年以前の建物が対象となる。(約9500戸)今後財政状況等考慮し、そのあり方を検討していきたい。

公共サービスのありかた・役割分担

質問 自治体財政の厳しさもあり、どの分野で誰が担う方がより効率的か。サービスの在り方を見直す新しい動きもある。今後の方向性について

答弁 市長 最小の経費で最大の効果をあげる、との観点から公と民の役割分担の手段として「提案型公共サービス民営化制度」を始めた。地域力、市民力を結集し、地域協働として新しく公共空間を考えていきたい。行政だけでなく、市民、企業も参加して協働で経営する地域経営を取り入れた運営をしていく。

道路管理について

前田 久年

質問 道路沿線に雑草や木が覆い被さり通行に危険な箇所が見受けられるが、市で伐採できないか、また、道路の中央線、外側線が消えている箇所がみうけられるが、白線の復旧計画はないか。

答弁 建設部長

道路敷地に覆い被さり通行に支障をきたす支障木については、原則として、所有者並びに関係者においてしている。所有者で伐採できない場合は、可能な限り伐採を行う。また、中央線、外側線については、交通量等を考慮し、緊急性の高い箇所から実施したい。

地域交通会議について

質問 路線バスをはじめ、今後の地域交通のあり方について協議を行う場として

答弁 路線バスをはじめ、今後の地域交通のあり方について協議を行う場として



て、「伊万里市民と考える地域交通会議」が設置された。特に利用者をはじめとして、交通弱者の生の意見を聞くことが、重要ではないかと考える。今後の取り組みについて。

答弁 産業部長

地域の意見の集約が必要になると考えられるので、どのような方法で地域の意見を集約したほうが良いか、区長会等とも検討をする。

先進的な取り組みとして、住民の皆さんが市長を交えて地域の問題について議論を深める「よか村づくり座談会」が開催されており、その中でも、路線バスに代わる、新たな移動手段の確保策についても意見交換もなされている。

すべての高齢者が尊厳を保つために を過ごすために

下平 美代

質問 ①認知症患者が急増している。認知症予防事業はどのように行われているか。②認知症は病気である。早期発見と早期治療が重要。更に学習療法によって脳はよみがえることの共通理解を持つために家族、介護責任者、各団体等の研修会を市主催で開催すべきである。③認知症に対する共通理解を持ったリーダーを育成しモデル地区から全市へと取り組みを拡げて欲しい。

答弁 市民部長

①予防、啓発を老人会等で行い健康教室でリズム体操、カナ拾いテスト等を行っている。②体を使った運動だけが予防効果につながるとは言えない。これまでの市独自の取り組みを活かしながら、研修の機会を早

急に取り組むようにしたい。③リーダー養成の研修・制度も考えていきたい。

射撃場閉鎖に向けて

質問 ①閉鎖にあたっての課題は何か。②閉鎖の時期のめど ③閉鎖後の対応

答弁 教育部長

①本市の射撃場は教習射撃場の指定を受けており県内には鳥栖しかない。②県射撃場が指定を受け条件が整った時 ③封鎖後も水質・土壌検査は実施し、公表する。鉛を含む土壌の流出等の防止策など課題は検討していく。

雇用能力開発機構の陶磁器科廃止について

質問 今年度末にて廃止通達後の市の対応と結果について

答弁 産業部長

伊万里陶磁器組合の受託により存続となる。

トントン合戦について

高木 久彦

質問 昨年の大きな事故発生により、今年のトントン合戦は中止されたが、主催者側においては、どのような協議がなされているか。

答弁 産業部長

トントン奉賛会では、四つの分科会（①奉賛会組織の見直し②祭りの見直し③合戦の安全対策④事故の後処理と死傷者のフォロー）を設け全国の類似祭りを調査研究するなど、今後の祭りについて協議検討が続けられている。

質問 今年の秋祭りは、トントン合戦がなく、人

出も少なく盛り上がりに欠けた祭りであったが、トントンの今後について、市長はどう思うか。

答弁 市長

市内各地に伝統的祭りが

多くある中で、トントンは市の代表的祭りである。地域への経済効果や市外からの誘客効果、又子供達の伝統文化とのふれ合いなど、いろんな面を見ると、安全性が確保できれば、再開を望んでいる。

(株)SUMCO対策について

質問 SUMCOに配水する第4工業用水道事業の工事の進捗状況はどうか。

答弁 水道部長

途中設計変更も生じたが、現在7割程度の発注済状態で工事は予定通り進んでいる。

質問 今年は特に降水量が少なかったが、水源は有田川からのみで大丈夫か。

答弁 水道部長

有田川の10年に一度の渇水データを基に25万トンの貯水池を建設する。佐代川からの助水については、資料収集等の調査に入りたい。

臨港道路久原線の車線増加・延長について

多久島 繁

質問 企業の進出により車線の増加が考えられるが、4車線になる予定はあるのか。

答弁 建設部長

県の財政も厳しく、貯水池の件もあるので現時点では難しく明確ではない。交差点での事故が多い事も踏まえ、要望していく。

質問 久原踏切は車両増加で益々危険になると思われるが、波瀬の高架橋までの延長予定はどうなっているか。

答弁 建設部長

浦之崎工業団地の見通しが付かない今、現時点での延長は難しい。増線化の方が先である。

答弁 市長

港湾と道路という論理

で、204号のバイパス的役割を持たせるのは難しいが、工業団地と港湾機能を併せたところで要望していく。

質問 高速道路建設に伴う、山代ICのアクセス道と住民移転について

質問 山代ICからの取り付け道路を、臨港道路にするよう設計変更をしたらどうか。

答弁 市長

臨港道路に高架で取り付ける事が最善の方法であり、204号にも別出入口を付ける事で、どちらも機能する

国道事務所等とも、すぐにも話し合い、計画化に向けて検討したい。

質問 住居移転に対し、補償費など不安解消の為の手立てはどうか。

答弁 建設部長

地域の方の声をよく聞き、不便をかけないように、関係省庁とも話をしていく。

一般質問

小中学校へのAED配備

盛 泰子

質問 06年度、公民館など22施設へ配備したことは高く評価するが、緊急の事態に対処するために小中学校への配備が急務。

答弁 市長 学校へは公民館から貸出することとしていたが、万一の事態に間に合わなくてはいけないので、全校への一斉配備を来年度に考えた。

幼稚園・保育園等指導者研修

質問 佐賀市は「すべての子どもが市の大切な宝」として、公私の別なく、認可外保育所も含めた指導者研修を開催している。「子育て応援基金」の活用で実施できないか。

答弁 市民部長 各園でも研修を実施されているが、市主催の研修は有意義なことを考える。

「子育て応援基金」のPRにもなるので、実施へ向け検討する。

予算説明資料の詳細化

船津 賢次

質問 県内他市に比べて伊万里市の予算説明資料は高いレベルにあるが、厳しい財政難の折、「中止・縮小」した事業についても明示を。議会としても、「あれか、これか」の選択をする資料として必要。

答弁 政策経営部長 表示の仕方を研究の上、取組む。

指定管理者制度

質問 ①今後、どの施設に導入する予定か。②「民主主義の砦」である図書館へは導入すべきではない。

答弁 ①政策経営部長 ②市長 ①市民センター、図書館など5施設について可能性を調査中。②図書館を支える市民の力を誇りにしており、慎重に見極めたい。(二問省略)

同和行政、同和教育の終結について

答弁 市民部長 3ヶ月に一度納税相談を行い、特別の事情にあたる時は短期保険証を交付。

質問 同和对策の特別法「地対財特法」が平成13年度末で失効している。その後5年が経過したが、伊万里市の一般対策への移行の取り組みの状況は。

答弁 市民部長 「個人給付事業について18事業中15事業を廃止した。残る3事業についても3年で段階的に廃止することになっている。

資格証(国保)の発行について

質問 資格証(国保)では病院の窓口で医療費の10割を払わなければならない。「保険料を払いたくても払えない」世帯にとつては病院に行きたくても行けないことになってしまふ。病気などの場合、「特別の事情」で資格証の発行をしないことになつてはいるが、そのことの周知徹底はなされているか。

答弁 政策経営部長 実質公債費比率は平成26年度がピークで23・8%、經常収支比率は平成18年度100・2%と前年に比べ10・6ポイント悪化した。その要因としては地方交付税と市税の減及び公共下水道への繰り出し分の改定など特殊要因があつた。来年度以降は市税の相当の増加が見込まれるので93%程度になると推計している。(二問省略)

財政問題について

前田儀三郎

質問 平成18年度決算では実質公債費比率19・3%、經常収支比率100・2%となつてはいる。第4工業用水道につづき中核的病院建設など大型事業が計画されているが、財政が破綻しないか、また、くらしや福祉にしろよせがくるのではないかと多くの市民が不安を持っている。今後の財政見通しは。

答弁 教育部長 食育については、以前より全市挙げて取組んでおり、また「食のまちづくり」宣言も県下で一番目に行なつた。学校給食についても色々な取り組みを行なつてはいる。

学校給食法の改正に伴う本市の取り組みについて

質問 学校給食法の改正が来年の通常国会に提出される予定だが、本市の対応は。

答弁 教育部長 食育については、以前より全市挙げて取組んでおり、また「食のまちづくり」宣言も県下で一番目に行なつた。学校給食についても色々な取り組みを行なつてはいる。

病後児保育について

質問 「病後児保育」の取組みについては佐賀県は五ブロックに分けてはいる医療圏に於いて、西部医療圏のみが未だに取組んでいないが、今後の対策は。

答弁 市民部長

今までに検討は行なってきたが、取組んでいないのが現状。今後平成21年度までには開設したいと考えている。

滝野中学校の今後の在り方

質問 滝野中学校の今後の在り方については、現在国見中学校が改築中だが、滝野中学校も古く生徒たちの学校生活に支障が出ているのではないか。

答弁 教育長

滝野中学校は、小中学校の一貫教育で市内でも優秀校であると認識いたして。文部科学省は義務教育の見直しを行なっている。今後、国の方針を見極めながら対応したいと考えている。伊万里市の面積も広く公立学校は24校も在り、また少子化も進んでおり時期が来たら、検討委員会も開く事も視野に入れなければと考えている。

山間地農林業の今後

福田 喜一

質問 伊万里市内、特に山間地は、世帯数の減少とともに後継者不足や高齢化が進み共同体としての機能ができなくなる限界集落化が進んでいる。その進行を食い止めるための地域産業の活性化は。

答弁 産業部長

現在取組んでいる主な対策としては、中山間地域等直接支払交付金事業・中間地域総合整備事業・水田農業構造改革対策事業・集落営農組織などの推進がある。また電気牧柵など有害鳥獣対策にも、取り組んでいる。

質問 林業の経営が成り立たない現況の中、市としてどのようなことに取組んでいるのか。

答弁 産業部長

林業森林整備は森林法に基づき個人からの申請事業

である。新植・間伐などの造林事業や森林施業森林整備を円滑効果的に取組んでいる。山のなんでも相談窓口を、5ヶ年計画で各町公民館において開催している。

福祉事業について

質問 現在伊万里市内には障害者授産施設（作業所）は6施設ある。それぞれ障害の程度に合った作業に取組んでいるが、作業品目が不足している。これに対して行政も仕事斡旋ができないか。

答弁 市民部長

企業誘致課とも連携をとりながら民間企業や商工会議所などにもどんな仕事があるのかお話をして協力したい。

質問 各町公民館の障害者用トイレの整備について

答弁 教育課長

未整備の公民館については、年次的に順次改善をする。

環境問題、特に水環境問題について

草野 譲

質問 H17年度に本市が市民との協働作業と言う事で策定された「伊万里市環境基本計画」の取組みについて

答弁 市民部長

H18年実施結果として水質検査44ヶ所で行い、伊万里湾の生物調査も4回程行う。また、環境関連企業4社とも環境保全について協定を結んでいる。そして市民への周知については図書館とか広報伊万里などでお知らせする。特集も組む。

質問 水環境問題で下水道事業の事で伺う。計画されている区域の完成は後何年か。また、費用はどれ位か。

答弁 建設部長

計画されている区域の工事の終了はH37年までと予定している。また、費用は

約100億円程度必要と考えている。

質問 下水道に替わる処理施設として非常にいい事業制度がある。市町村型の浄化槽整備推進事業と言う制度。この制度を本市が取組めば個人負担が6分の1に軽減される。つまり5人槽の設置費用は約89万円程かかる。それがこの制度だと個人負担は9万円程で済む制度。今まで本市が取扱っていた制度では個人負担は53万4千円も支払っていた。非常にいい制度だと思いませんか？

答弁 市長

この計画も実は検討した事がある。設置者には非常にいい制度であるが、維持管理の分は市が持たなければならぬ。この事が市の財政を圧迫する。取組みたいが、取組む事は今は困難である。

行政視察受け入れの状況（平成19年9月～12月）

月	来訪議会名	人数	視察項目	
10	佐賀県小城市議会	10	議会運営、議会改革	委
	熊本県玉名市議会	10	議会運営	委
	島根県大田市議会	7	PFI手法による学校給食センター	委
	三重県鈴鹿市議会	3	提案型公共サービス民営化制度	会
	東京都多摩市議会	8	NPOへの特定信書便事業委託	委
	大阪府富田林市議会	1	議会改革	個
	滋賀県長浜市議会	10	PFI手法による学校給食センター	委
	北海道登別市議会	6	NPOへの特定信書便事業委託	会
11	埼玉県久喜市議会	6	NPOへの特定信書便事業委託	委
	愛媛県西条市議会	5	食のまちづくり推進計画	委
	福井県福井市議会	9	「家読」、通学路の安全対策	委
	静岡県御殿場市議会	2	PFI手法による学校給食センター	委
	福島県白河市議会	8	市民図書館の建設、運営	委
	三重県伊賀市議会	6	議会運営、議会改革	委
	鹿児島県さつま町議会	9	食のまちづくり、子育て支援	委
	滋賀県草津市議会	5	いじめなし都市宣言	会
	山口県宇部市議会	7	伊万里港の現状と利用促進	委
	北海道旭川市議会	1	アウトソーシング指針	個
	青森県五所川原市議会	8	食のまちづくり、ふるさと薬膳レストラン	委

※ 人数は議員の他、随行者も含みます

※ 「委」は委員会、「会」は会派、「個」は個人での視察を意味します

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています

※ 9月、12月は議会中であり、視察申し込みはありませんでした

行政視察受け入れ 余談

伊万里市が先進的に取り組んでいる内容についての視察申し込みが多い中で、この2ヶ月間に、議会運営に関する視察が4回もありました。

小城市は3町合併により新市が誕生し、議会の運営についてもそれぞれの町議会でのやり方を踏まえつつ、新たな運営について模索しておられます。県内の参考事例として、伊万里市議会を選んで頂きました。

また、三重県伊賀市議会は平成18（2006）年度に「議会基本条例」を制定され、全国でも最先端の市議会です。その条例は、伊賀市の憲法である「伊賀市自治基本条例」第5章で謳われている「議会の役割と責務」の具体化を目指したものであり、その特徴として、

1. 市民との意見交換の場である「議会報告会」の設置
2. 市民に分かりやすい議会議論並びに審議論点の明確化のため「一問一答方式の導入」と「行政への反問権の付与」
3. 政策の公正、透明性の確保と議会審議での論点情報の形成のため、行政に対し「情報の発生源など7項目」の提出を求める
4. 二元代表制の一翼を担う議会としての共通認識の醸成を図るなどの「政策討論会」の設置
5. 常任、特別委員会などの活動の一環として「出前講座」の設置
6. 議案に対する「議員の対応」の公表
7. 議員の定数、報酬の改正は、議会自ら説明責任を果たすため「議員提案」を行う が挙げられます。



むしろこちらの方が学ぶことの多い視察受け入れであり、今後の議会改革に生かしたい実り多いものでした。伊万里市議会の議会改革については、市議会ホームページに「近年の改革・改善点」として掲載しています。

立花小学校6年生 議会傍聴に！

12月13日、社会科で公民を勉強中の6年生が本会議場傍聴席を埋め尽くしました。子どもたちの目に市議会一般質問はどのように映ったのでしょうか。感想を頂きましたので、掲載します。

・ 議会見学に行きました。初めて見た議会は、とてもきれいでびっくりしました。やっぱりテレビで見るとより実際に見たほうが迫力があって、すごかったです。ぼくたちは議員の質問を聞いたけれど、自分の思いを

しっかりと覚えていたのです。ごいなあと思いました。速記者の人にもびっくりしました。市議会や県議会や国会の話し合いの違いもこれから見つけていきたいです。
(田雑 慶)



・ 議会を見学に行きました。議会の人がどんどん入ってきて、私たちは後ろに座りました。中学校の給食や、私たちの関係があることがたくさん出てきました。議員さんが質問して教育部長さんが答える側。こんなふうに質問と答えが重なり解決していくんだなあと思いました。私たちの

ことまで考えてくれているんだなあ、ありがたいなあと思えました。(古川沙織)

・ 初めて議会を見ました。やはり学校の学級会と違って本格的でした。しかし、議員は僕たちのことを話題にしてください、とても嬉しかったです。でも、今日の市議会が一番小さい議会だとしたら、県議会や国会などどんなに大きいのでしょうか。今日の体験ができて本当に良かったです。
(山口薫平)

・ 議会を見て、一度にたくさんのお話を質問して、一気に解決していくんだあと初めて知りました。昨日テレビで見たのより生は迫力があってすごいなあと思いました。3つの質問の中で、一番耳に残ったのが、滝野中学校のことです。自分の経験したことなどを入れて話されていました。だからいいなあと思いました。話の内容は時々むずかしかったけれど、今気づいていることや少しでも知っていることは真剣に聞きました。普通経験できないことが経験できて良かったです。
(洲上佳穂)



石炭で走るミニSL
(本町アーケード)



ペットボトルで遊ぼう
(第3回ふれあい広場)

編集後記

新しい年2008年を迎えました。昨年は残念なことに、世相を表す漢字・文字に「偽」が選ばれました。今年の干支「子」は、十二支の最初の干支で、原点に戻っての出発。成長の意味をもつとも言われています。物騒な事件、企業の不祥事など安全・安心を揺るがすニュースも後を絶ちません。危険を知り回避する行動を、原点に戻ってそれぞれの立場で考えていきたいものです。これから議会でも十分審議し、決断を迫られる場面も増えてまいります。少しでもわかりやすく、親しみに努めてまいります。皆様方からのご意見・ご要望をお待ちしております。

◎ 樋渡雅純 ○ 山崎秀明
松尾雅宏 多久島繁
前田久年 渡邊英洋
顧問 占野秀男、盛泰子

発行 伊万里市議会
伊万里市立花町一三五五一
☎0955-23-12111
☎0955-22-1277
E-mail: gikai@city.inari.jp
編集 市議会だより編集委員会
印刷 山口印刷株式会社